








本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

<p>『あしたもオカピ』 作／齊藤 倫 ・「よつば月のよるには、どうぶつたちのねがいが、かなうんだよ」動物園中の鍵を開けて歩き出したオカピ。いろんな願いごとを持つ動物に会ううちに、あることに気づき…。シカやウマに似ている不思議な動物、オカピのお話。(小初)</p>	
<p>『用具室の日曜日』 村上 しいこ／作 ・ここは、せんねん町の、まんねん小学校の用具室。運動会などで使う道具たちがいます。待ちに待った日曜日。狭くて暗い用具室を飛び出し、用具室のみんなはオニごっこ。でも、三角コーンだけは様子が変で…。日曜日シリーズ。(小初)</p>	
<p>『すみれちゃんとようかいばあちゃん』 最上 一平／作 ・山また山のその先に住んでいる、ようかいばあちゃん。ひまごのすみれちゃんは、今晚ひとりでおとまりします。暗やみからヌツと姿をあらわしたようかいばあちゃんのしわだらけの顔が、一瞬ピンとふくらみ…。(小初)</p>	
<p>『おしりダンディ ザ・ヤング かいぞくのおたからをさがせ!』 トロル ・「おしりたんてい」の父「おしりダンディ」の若き頃の冒険譚。「うみの水品」を次んだ次賊カゲトを追いかけると、そこには暗号が…。4つの話を</p>	
<p>『うさぎとハリネズミ きょうもいいひ』 はら まさかず／ぶん ・のんびりやで前向きなうさぎと、ちょっぴり繊細なハリネズミ。ふたりが出会ったその日から、あたらしい物語が動きはじめ…。「ちくちくとふわふわ」など全4話を収録。「うさぎとハリネズミ」シリーズ第1作。(小初)</p>	
<p>『時間色のリリィ』 朱川 湊人 ・ある日、ロミの前に突然現れたリリィという女の子。なにやら「ミコミコぷろだくしょん」なるものを、探しているらしく…。彼女はいったい何者!? 偕成社ウェブマガジン『Kaisei web』連載を書籍化。(小中)</p>	
<p>『れんこちゃんのさがしもの』 戸森 しろこ／作 ・れおくんは食べるのが大好き。料理が得意なお父さんの手伝いもします。誕生日に自分の包丁を買ってもらったれおくんが、ある日れんこんを切ると、れんこんが話したし…。料理好きの男の子とれんこんの女の子の不思議な冒険。(小初)</p>	

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 15』 廣嶋 玲子／作

・その駄菓子屋は、幸せと不幸のわかれ道。女主人・紅子が、きょうもお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。「サイン・コイン」「ピチピチピーチ」など、駄菓子屋「銭天堂」を舞台にした不思議なお話全7編を収録。(小中)



『四年ザシキワラシ組 夏がきた!』 こうだ ゆうこ／作

・4年2組にすんでいるザシキワラシ。クラスみんなは、風太とザシキワラシは親戚だと思いこんでいる。泳げない問題、運動場を走る黒い犬…。ザシキワラシのせいで、風太の毎日は事件ばかり。4年生の夏は、いったいどうなる?(小中)



『怪奇漢方桃印 なかなかやばいの違反解除湯』 作／廣嶋 玲子

・夜中にこっそり子どもだけで出かけたなら? 家族の悪口を言っていたら「おとぎ列車」に乗せられて? 日本全国どこにでも、ふしぎな漢方屋・桃さんがまいます! 「銭天堂」シリーズの廣嶋玲子・お薬屋シリーズ第4編。(小中、小上)



『月にトンジル』 佐藤 まどか／作

・トール、ダイキ、シュン、マチは、「テツヨン」とよびあう仲良し4人組。ある日、ムードメーカーのダイキが引っ越すことになった。トールはテツヨンの友情は変わらないと信じていたのだが…。友情の変化を描いた成長物語。(小上)



『デュパン 世界の名探偵1』 エドガー・アラン・ポー／作

・たぐいまれな想像力で、難事件をあざやかに解決してみせる。その人の名はオーギュスト・デュパン。「モルグ街の怪事件」など、“世界初の名探偵”デュパンが挑んだ3つの事件簿を収録。探偵新聞、名探偵紳士録も掲載。(小上)



『海を見た日』 M・G・ヘネシー／作

・きっと世界は、そんなにひどいところじゃない。ロサンゼルス、それぞれの事情で養母の家に預けられた3人の里子。みんながバラバラの方向を向いていて、正面切って向き合わない。そこへ新しく自閉症の男の子が仲間入りし…。(小上)



『都会のトム&ソーヤ 17』 はやみね かおる

・突然やってきた転校生が、クラスの心を驚愕みにした。その存在は謎めきすぎていて!? 創也が、これまで内人にしか明かしていなかった「砦」へ招待。時見の真田女史も迷いが生じ…。はたしてクラスの平和は保たれるのか?(小上、中)



『午前3時に電話して』 小手鞠 るい

・誰にも話せない悩みを抱え、3人の親友たちの前から消えていたみなみは、ブックカフェで見つけた〈白い本〉に自分たちの物語を書き始め…。男女仲良し4人組の青春友情小説。(小上、中)

